

愛媛県新居浜市高津校区

地区防災計画



助け合い声かけあってすばやく避難
皆で進む高津校区

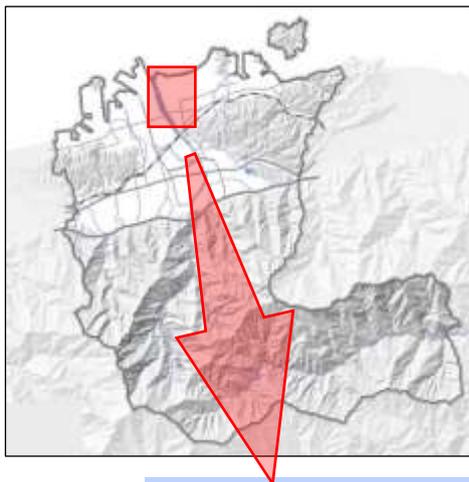
令和5年2月

1 地域の概要

高津校区は、市の中心部から東側に位置し、全体的に住宅地が存在、西側に国領川が接しており、北側の一部が瀬戸内海に面しています。

校区内には、高津小学校、東中学校、東高校、高津公民館のほか市民体育館が立地されており、災害時には避難所として活用されることになります。

愛媛県地震被害想定では、地震発生30分後の津波浸水エリアに清水町が該当しており、水平避難など速やかな避難が求められます。また、北側は特に海拔が低く、高潮と国領川氾濫時の浸水想定区域となっているとともに、清水町の一部は家屋倒壊等氾濫想定区域となっています。



2 社会特性

(1) 世帯・人口構成及び比率

(令和5年1月現在)

世帯	比率(%)	人口	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)
5,526	9.6	10,976	9.5	5,320	9.6	5,656	9.5

(2) 避難行動要支援者数(市で確認済みの人数)

(令和5年1月現在)

対象者数	同意	不同意	その他
481	230	37	214

3 自然特性・災害特性(地域で起こりうる災害)

(1) 被害想定

想定震度	津波浸水深及び浸水開始時間	液状化危険度
7	0.5～3m 30分後	極めて高い(30<PL)※
土砂災害	洪水浸水	ため池浸水
特別警戒区域	0.5～3m 家屋倒壊あり	なし
警戒区域		

※ PL=液状化可能性指数。数値が大きいほど液状化の危険性が高くなる。

(2) 地理的特性

流域河川	二級河川	国領川
	普通河川	なし
洪水浸水想定区域	東雲町一丁目、桜木町、南小松原町、高津町、沢津町一・二・三丁目、清水町、松の木町、宇高町三・五丁目、田の上四丁目	
土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域	なし	
南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域	沢津町一・二・三丁目、清水町、松の木町、宇高町三・五丁目、田の上四丁目	

(3) 想定される災害

災害種別	被災内容	備考
地震	想定震度7(建物倒壊、液状化)	
津波	最大想定浸水深0.5m～3m(地震発生から30分後)	20cmに達する時間
洪水	最大想定浸水深0.5m～3m(想定最大規模)	
土砂災害	なし	

4 防災の取組状況（予定）

取組時期	取組内容	対象
毎年1月中旬	校区防災訓練 (地震体験、土のう作り、資機材取扱い等)	地域住民 小学生 中学生

5 災害時の課題

区分	課題
地震	液状化が発生する。
水害・土砂	山がないため土砂災害の心配がない。 海が近いので水害の心配がある。 ポンプ場の不具合が起これば浸水する。 国領川の川底が高くなり水害が発生する。 水路の冠水が多く予想される。

6 災害時の現状

区分	現状
地震	地震により電柱が倒れ、漏電による火災が発生する。 地震による液状化で家屋が倒れる。
水害・土砂	国領川に近いダムのため放流により水害が起こる。 大雨、満潮が重なり水害・浸水が起こる。 川に近く、地盤の低いところがある。
避難所開設運営	地震災害の場合は発生後の対応となる。
自助共助の向上	校区内の道路の幅が狭い（特に南北道路）。 細い道が多いので大型車が入れない。
要支援者の支援	要支援者への支援対策が図られていない。 自治会での連絡網及び方法の周知が必要である。
その他	海と接している。 海拔が低い。

7 災害時の対策

区分	対策
地震	家具転倒及びガラス飛散の防止を図る。
水害・土砂	河川から離れるように避難する。
避難所開設運営	避難所開設の訓練をしておく。 避難所運営の管理計画を作成する。 体育館内の収容人員の計画案を作成する。
自助共助の向上	自治会単位で住民の避難所を決定しておく。 避難時の連絡網を作る。 校区及び自治会内で防災資器材（発電機、保存水、簡易トイレ、非常食、寝具、照明器具、カセットコンロ）の充実を計画的に進める。 定期的に使用・運転を行い、メンテナンスする。 防災グッズの準備、非常食の準備・確保（ローリングストック）を進める。 テレビ、ラジオ（防災ラジオ）、ホームページ（県・市）スマホ（防災アプリ、天気アプリ）、防災行政無線から情報を入手する。 家族間で安否確認方法、集合場所、避難場所、避難ルートを決めておく。 我が家の防災倉庫に防災グッズを準備する（水中ポンプ、発電機、水（2L×6本×4ケース）、簡易トイレ、シェバースー、土のう袋、非常食7日分、バール類、ジャッキ、ヘルメット、非常用持ち出し袋、ブルーシート、救命胴衣）。 風呂水を溜めておくなど、水を溜めておく。
要支援者の支援	要支援者リストの作成と支援者を決定する。
その他	マイタイムラインを作成する。

8 緊急避難場所及び避難所

施設名		収容人数		使用制限
		緊急避難場所として	避難所として	
高津小学校	校舎	6,284	1,570	
	体育館	1,196	299	
	グラウンド	9,664	—	
東中学校	校舎	4,356	1,089	
	体育館・武道場	1,816	454	
	グラウンド	10,200	—	
新居浜東高校	本館	3,745	936	
	第1・特別教棟	3,834	958	
	体育館・武道場	1,888	471	
	グラウンド	25,570	—	
高津公民館		987	246	
市民体育館		4,566	1,141	

9 自主的な緊急避難場所

施設名	受け入れ対象地区	使用制限	備考
桜木西自治会館	桜木西自治会		
清水集会所	清水自治会	高潮×	
宇高自治会館	宇高自治会		
沢津自治会館	沢津自治会	津波・風水害×	
東雲自治会館	東雲自治会	地震×	

10 防災活動計画（5ヶ年計画）

（1）校区

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
校区防災訓練 (公民館・小学校)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	単位 16 自治会・各団体組織（小・中学校 PTA、民協、社協、消防団）で実施する。
ブロック別の防災訓練 防災備品の配布 (ブロック別)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	5ブロック（宇高、沢津、南小松原、東雲、桜木）で実施する。
まちあるきによる防災マップ の見直し (ブロック別)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	ブロック別に危険箇所（水路・ブロック塀等）を再検討する。
避難所の運営・管理計画の作成 (校区)	検討	実施	検討	実施	⇒	避難所におけるスペース（一人、家族、ペット等）を確立する。

（2）自治会

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
防災訓練 (自治会)	検討	⇒	実施	⇒	⇒	希望する自治会には、連合自治会が所有する資機材を貸し出して訓練を実施する。
資機材の整備 (自治会)	検討	実施	検討	実施	⇒	購入備品をリストアップし、3か年分の予算を計上する。
自主防災組織の充実 (自治会)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	防災訓練への参加等により、組織力の向上を図る。

(3) 家庭

実施内容 (実施対象)	年度計画					目標
	R5	R6	R7	R8	R9	
家具転倒及びガラス飛散の 防止対策 (家庭)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	防災に関するアンケート調査を実施し、未 設置家庭の把握及び対策を実施する。
非常持出袋の整備 (家庭)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	防災に関するアンケート調査を実施し、未 設置家庭の把握及び対策を実施する。
非常食等の整備 (家庭)	検討	実施	⇒	⇒	⇒	食料と飲料水を1週間分備蓄し、カセット コンロ・ガスボンベ等を準備しておく。
避難所の確認 (家庭)	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	家族で避難先や経路を決めておく。